

セントレア国際空港は2005年2月17日に開港した日本で3番目の海上空港である。直接名古屋駅から最短30分程度でアクセスできる。

エントランスを入るとまずウェルカムガーデンがある。内部は吹き抜け形状になっており孟宗竹を配した植栽と付近に陶器で有名な常滑市があることもあり陶器のオブジェがある。

ガラスと金属で出来た新しい建物という印象であるが国内線・国際線に対して地域のアピールを感じ取ることが出来る。

2Fはアクセスプラザになっており到着ロビーから名鉄、高速船、タクシー、観光バス等の各種乗り場へのアクセスが可能となっている。

3Fの出発ロビーは天井が高くトップライトを用い開放的な空間となっていて4Fのスカイタウンと一体的になっている。

4Fのスカイタウンはイベントプラザを挟むようにしてちょうちん横丁とレンガ通りで構成されている。当日もイベントが開催されており賑わいを見せていた。

イベントプラザを抜けるとスカイデッキに出ることが出来、全長300mの総板張りのスペースで発着便を見ることが可能となっている。

建物は一貫してガラスと鉄の構成となっており、例えば屋内消火栓ボックス、エレベーターがガラス張りとなっていて細部に至るまでデザインされていた。

光をふんだんに取り入れ透明感のある明るい空港であることが印象に残った。

